

平成20年10月 9日

このことについて、別紙の通り提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県肝付町

・広域農道や農免農道などの完成後は、交通の流れも変わり一般道路の役目を果たしている。しかしながら、道路構造例や規格の違いから、縦断勾配や曲線半径などで見通しの悪い道路や、信号機のない大きな交差点ができている。また、大型車通行により路面損傷の著しい道路がある。農政サイドとの道路規格、構造の一本化は図れないものか。道路網についても国道、県道と平行した大規模農道が見受けられ、地域と一体化した整備をはかるべき。

・国道、県道の歩道部に植樹帯がもうけられていますが、樹木が大きくなりすぎて日当たりが悪かったり、実のつく樹木は実の落下により歩行者が滑るとの苦情が多くあります。田舎において、植樹が必要なのか、今植えてある樹木についても、間引きを行い歩道空間を明るくし、なおかつ、維持管理費の削減につなげられないか。

・今後、橋梁の長寿命化が計られることになるが、長寿命化工事に伴って、耐震施工や、幅員の拡幅工事も補助事業として導入できないか。

今後の道路行政についての意見・提案

②—1地域の現状と抱える課題

様式②

鹿児島県肝付町

○現状

九州新幹線が部分開通して九州の中心地福岡まで鹿児島中央駅から2時間半で行けるようになりました。しかし、我が町から鹿児島中央駅まで距離的には60キロメートルですが、福岡まで行く時間と同じ2時間半を要します。空港までも全く同じで幹線道路整備の遅れが浮き彫りになっています。生活道路については昭和40年代から50年代に整備した道路がほとんどで、路面は凸凹、幅員も最近の車の大型化により狭く感じられ、異常気象による大雨では道路冠水による交通不能区間がたびたび発生しています。

○課題

- ・燃料高騰でも、交通手段は車しかなく効率的な移動をするには、道路の整備が不可欠である。
- ・道路特定財源の一般化はされたが公共交通機関の少ない地方へ重点的に予算配分をしてほしい。
- ・県庁所在地までフェリー乗り継ぎを余儀なくされている。是非、早い時期に大隅半島と薩摩半島を結ぶ桜島架橋の実現をしてほしい

今後の道路行政についての意見・提案

②—2地域の目指すべき将来像

様式③

鹿児島県肝付町

主要地までの時間短縮

大隅半島は日本の食糧基地として、全国に農水産物を提供している地域です。その果たす役割は重要なものですが、大部分は陸路輸送により各地の市場に出荷されています。課題は高速道路までのアクセス道路が貧弱で、多くの時間を費やしていることです。この道路整備と併せ高速料金の値下げで、スピードアップ、コストダウンを計り、生産者の所得向上に結びつけ安心して農林水産業に従事できる地域を目標としています。